

# あいのかぜ

Vol. 52  
2025年



## 特集 私たちの考え方 ～垣根のない社会へ～

男女共同参画について学ぶ子どもたち  
家事シェアについて考えてみませんか？  
男女共同参画とやま市民フェスティバル2024  
男女共同参画社会づくり作文コンクール

あいのかぜ  
とは？

男女共同参画社会の実現に向けて、市民一人ひとりが  
男女共同参画に関する正しい理解と認識を深めることを目的に、  
公募市民3人からなる編集委員によって企画・編集された情報交流誌です。

# 特集 私たちの考え方～垣根のない社会へ～

性別や国籍、年齢など、あらゆる違いにとらわれない考え方や働き方を知ること、男女共同参画社会づくりのために私たちができることを考えるヒントになればと、地域活動や会社経営などの分野に携わる方々にお話を伺いました。

少し意識を変えると、私たちの生きやすい世界が見えてくるかもしれません。

## 「少しでも誰かの役に立てば」 の精神が育むボランティアのこころ

桜谷校区の民生委員をはじめとして、地域活動だけでなく、市内全域にわたって様々な分野で活躍されている内山さん。活動に対するエネルギーはどこから生まれるのか、お話を伺いました。

### 内山 貴代(うちやま たかよ)さん

富山市出身。ホテルでの勤務を経て、結婚後は専業主婦となり、子育てをきっかけに様々な活動の企画や運営に長く関わる。夫と義理の父との3人暮らし。



### こんな活動をされています!

●桜谷校下民生・児童委員  
主任児童委員  
ブロック研修会の司会も務める



●NPO法人補食の会 代表家族  
1型糖尿病患者家族の支援や  
情報交換、疾病の正しい知識の  
啓発活動



●良書をすすめる会 副代表  
児童向けの良書を選定し紹介  
するリーフレットの発行のほか、  
図書館展示やおはなし会、講演  
会の企画



●富山市消防団  
富山女性分団員  
防災士の資格も取得

●富山子ども劇場 運営委員  
子どもや親子のための  
舞台作品の鑑賞活動、  
野外活動の企画運営



### ●様々な活動を始めたきっかけは何ですか?

どれも頼まれたり、お誘いを受けたり、ご縁があって始めたもので、自分でグイグイ行くわけではないんです。

娘が4歳の時に、小児慢性特定疾病の一つである1型糖尿病になり、患者や家族を支援する団体「補食の会」に所属したのがはじまりです。以来、今は支援者として、医療関係者の方と連携して、最新の療養や食事のコントロールを学んだり、親御さんの心のケアのための交流会を開催したりと、いろんな活動をしています。

その他の活動も子育てをきっかけに始めたもので、良書をすすめる会の読み聞かせで、「防災おはなし会」をするうちに、防災についてもっと学び、子どもたちに伝えたいと思うようになりました。

そこで、知人からの紹介で消防団に加入したんです。消防団では広報や火災予防の啓発活動をしています。近年は災害も増えているので、防災士の資格も取りました。

### ●たくさんの活動をされる 原動力は何ですか?

「自分のできることが少しでも誰かの役に立てば」という思いです。主体的に取り組まないと楽しくないじゃないですか(笑)。頼まれたことは責任を持って最後までやることを大事にしています。

仲間と一緒に活動することで、いろんな人とのつながりや交流、信頼関係を作っていくことも原動力になっています。



### ●これだけの活動をされていますが、家庭生活はどう されていますか?

主に家事は私がしていますが、どうしてもできないときは家族間で頼むようにしています。夫も父もできることは自分でするので、そこはうまく回っています。

### ●活動内容に男女差や、やりづらさがありますか?

ありません。夫婦一緒に活動される方が増えているように感じます。

参加している皆さんには職場や地域でそれぞれ社会的な立場がありますが、ボランティア活動では、その垣根をずいぶんと越えますね。みんな対等で、性別や世代を気にせず和気あいあいと活動しています。



防災おはなし会のようす

### ●活動を続けていく秘訣は何ですか?

活動での悩みや、困ったことが起きた時には、まず仲間に相談するようにしています。問題を共有することで、仲間がヒントをくれることもあります。

「できないことはできない」「ここまでだったらできる」といったことを自分で言葉に出していくことも大事です。一人で頑張るんじゃなくて、「私はここまでではできけどここはやってね」と口にするだけで、ずいぶん楽になります。だから言ってもいいんですよ。

### ●性別に関わらず活動しやすい環境、さらには男女共同参画社会の実現には、どんな考え方が必要だと思いますか?

女性も男性も自由に意見を出し合える環境づくりです。どんなに意見を出しても取り上げてもらえないのは、参加している意味ややりがいを見出せませんよね。

それぞれの得意な面を發揮してもらい、お互いに話し合うことで、必ず新たな発見が生まれます。性別に関係なく、人が大切にされる場所が理想です。



「良書をすすめる会」での活動が評価され、ボランティア活動推進富山県民会議会長表彰を受賞されました。

## 違いを知り、理解を深める ～受け継がれる寛容スピリット～

『株式会社PCO』は、数年前まで、ほぼ女性社員で構成されていた会社。現在は、性別や年代、国籍や出身地に関係なく、多彩な背景を持つ人達が集まっています。多様性に富んだ組織づくりや、ライフステージにあわせた働き方について、代表取締役社長の西田さん、社員の室谷さん、黒田さんにお話を伺いました。

『株式会社PCO』は、2003年創業のコンベンション企画運営<sup>※</sup>を専門とする会社。広告デザイン会社『生活ネット研究所』(1991年創業)から事業分割により設立。

従業員数30名(内、男性4名・女性26名) ※2025年1月現在。

※コンベンション企画運営…国際会議や学術研究の展示会などのイベントを企画・実施するサービスのこと。



**室谷 宗克**(むろたに むねよし)さん  
デジタル事業部 映像技術

映像会社でカメラマンとして長年従事。コロナ禍を経てPCOに入社。

**西田 美樹**(にしだ みき)さん  
代表取締役

宮城県出身。結婚を機に富山へ移住し、PCOへ入社。2019年代表取締役就任。

**黒田 彩佳**(くろだ あやか)さん  
PRプロモーション・DMC推進室 リーダー

県内の印刷会社を経てデザイナーとして勤務。

### ●PCOは、2021年まで女性社員がほぼ100%の会社だったと伺いました。それは何故ですか？

**西田さん** 1990年代に先代の女性社長が創業した頃は、女性が継続して働くことが非常に難しい時代で、そもそも起業する女性自体が少なかったと思います。当時、女性経営者のところで勤めるという発想が男性にあったかを考えると、なかなかそうではないだろうと。また、先代は女性だけを集めようとは思っていたわけではないと思いますが、広告デザイン会社という業態的にも女性が集まりやすかったのかもしれない。

### ●その状況から、男性社員を採用するに至りました。経緯やきっかけは？

**西田さん** 必ずしも男性を採用しようとは思っていませんでした。入社3年目の室谷さんは、もともと事業パートナーの会社に勤めていて、チームとして現場を一緒に作っていたんです。当社の事情をよく知っている方だったこともあり、タイミングが合って、お声がけをしました。

### ●室谷さんは、この会社に入社していかがですか？

**室谷さん** そうですね、自分がこれまでにやってきた映像技術の仕事をちゃんとさせていただけるので、やっぱり仕事がしやすいですね。

PCOでは来春の内定者を含めると男性社員は5人と、室谷さんの入社を皮切りに男性社員も増えてきました。

### ●女性社員の多い会社にも、男性社員がメンバーに加わることで、社員間で何か問題や変化はありましたか？

**室谷さん** もともと一緒に仕事をしていましたし、女性の中で働くことに関して、僕自身、抵抗がなかったので、問題はないです。周りの人からは言われますよ「女性ばかりの会社ですね」って。でも「そうですね」としか答えていませんが(笑)。

**黒田さん** あまり、ないですね。見るからに重そうなのは「お願いします!」ということは、ありますけど。でも実際、女性社員しかいなかった時代も力仕事はしていましたし、意識的な変化もほとんどなかったです。

ライフステージにあわせて、PCOに転職した入社6年目の黒田さん。以前の職場では、男女比率について、普段からあまり気にしたことはなかったものの、出産を機に働きづらさを感じるようになったそうです。

**黒田さん** 前職は、自分の生活との折り合いがつかなくなってしまったんです。それで転職を思い立ったのですが、当時、子どもが2歳になる前で。世間でいうと、その年齢の子を持つ母親は、再就職がすごく難しいのかなと思っていたのですが、西田社長は「自分もそうだったからいいよ」と全く気にかけずに迎え入れてくれました。

**西田さん** 私も、子どもが1歳になる前に、先代のところに来たんです。自分が100%の力を仕事に投入できないという時に、会社が環境を整えてくれたという体験が私にもありましたので。ライフイベントに合わせて、特に変化がある人には、「フォローした方がよさそうじゃないかな」と、勤務体系や雇用契約などについて、私だけでなく役員やリーダーが定期的に会話をしています。



PCOでは現在、台湾や香港、カナダ出身の外国人スタッフのほか、UIターンで働く人など、多彩なメンバーが揃います。

### ●組織づくりで心がけていることはありますか？

**西田さん** 相手への配慮や、それぞれの能力でリスペクトできるところを見つける、ということでしょうか。そうでないと、なかなか一緒に仕事はできないと思っています。生まれ育った環境や身に付けた文化など、どちらが良いではなく「違いがある」ということを理解すること。簡単ではないのですが、みんなが自分の力を持ち出して、一つのものを作り出すことができる、それが組織だと考えています。



### ●その考えにたどりついたのは、どうしてですか？

**西田さん** 結婚して県外から富山に来て、富山の人達の会社に入り、価値観の違いで心地良いことも悪いこともあるわけですね。そのような中で、互いを客観的に見て、その違いをどう生かしていくか、どう伝えたら理解してもらえるかを考えたほうがいいだろうと。そのためには違いを知ること、すごく重要だと思ったんですね。それから、うちの子どもが学校に行かない時期があったんですけど、子どもとの対話から、自分あたりまえにできることでも、それをできない人もいて、ということを知ったのは大きいです。これらの経験が、他者を理解するところに至っているのかもしれない。

### ●性別に関わらず働きやすい会社、さらには、男女共同参画社会の実現には、どんな考え方が必要だと考えますか？

**西田さん** 最初に、人を性別で見ることをやめた方がいいかなと思います。もちろん、自分もジェンダーバイアス<sup>※</sup>はあります。でも、できるだけそれは外して「人間」として見る。この人の得意なこと何なのか、好きなこと何なのか、上手にできること何なのか、苦手なこと何かを考えた方が、そこにある能力を見間違えたり、見過ごしたりしないと思っています。

※ジェンダーバイアス…性別に対する無意識の思い込み。



## きっかけは、 災害ボランティアでした!

富山市では、2024年4月現在、消防職員468名のうち女性は13名となっています。近年、消防士を目指す女性は少しずつ増えていますが、まだまだ少ないのが現状です。

今回は、女性消防士として活躍されている石川さんに、消防士の仕事についてお話を伺いました。

### ●消防士を目指したきっかけは?

大学時代に、西日本豪雨の被災地に赴き、災害ボランティア活動に参加しました。土砂を除去する大変な仕事でしたが、実際に被災地の方と関わることで、災害から市民を守る消防士になりたいという気持ちが芽生えました。市民のために働く立派な仕事だと、家族も背中を押してくれました。

### ●現在の主な業務は?

消防法に基づいた事業所や学校への火災予防調査や、小学校・保育所などでの防火教育といった火災予防業務のほか、消防隊員として火災現場に出動し、消火活動や火災原因調査も行っています。

### ●男性消防士との業務の違いや女性に向けた支援があれば教えてください。

富山北消防署には、現在3名の女性消防士がいますが、基本的に男性消防士との業務の違いはなく、夜勤もしています。富山北消防署には、女性専用の仮眠室があり、シャワー室や専用の洗濯機なども整備されています。すべての消防署に女性専用設備が整備されているわけではありませんが、そうした設備の整備は計画的に進められています。



休みの日には、ランニングや体カトレーニングをしています!

### ●やりがいを感じたエピソードは?

私は火災予防業務の経験が長いのですが、私が指導した箇所を事業所が改善してくれた時にはやりがいを感じます。



石川 伊穂(いしかわ いまり)さん

富山北消防署 査察課予防係 消防士  
富山市出身。愛知県の大学を卒業後、2020年に消防士として採用。富山消防署での勤務を経て、2023年より現職。

### ●女性消防士が少ないのはなぜだと思いますか?

消防士は男性の仕事、体力のいる仕事というイメージが強く、抵抗感があるのだと思います。確かに火災現場で体力差を感じることはありますが、チームとして周りの職員が協力してくれますし、私自身も現場のサポートができるように動くことを心がけています。女性が働きやすい専門的な部署ができると、消防士を目指す女性が増えるかもしれません。

### ●性別にかかわらず働きやすい職場、さらには男女共同参画社会の実現にはどんな考え方が必要だと思いますか?

男性だから、女性だからという固定観念に捉われず、男女ともに働きやすい体制を整えることが大事なのかなと思います。

### ●今後の目標は?

救急の現場では、女性の傷病者は女性の救急隊員に対応してもらった方が安心してもらえることも多いと思うので、今後は救急の業務にも携わってみたいと思っています。

## 知っていますか? ジェンダー・ギャップ指数

### ●日本の順位は146か国中、118位

主要先進国で  
最下位



今回の特集記事で取材した皆さんは、性別にかかわらず、それぞれの分野で、自分らしさを生かして活躍されています。

一方、2024年の日本のジェンダー・ギャップ指数順位は、118位(前年125位)でした。世界の国と日本とでは何が違うのでしょうか。私たちの思う「当たり前」は世界の国でも「当たり前」でしょうか。世界の国との違いを知り、男女間の格差を自分事として考えてみませんか。

### ●ジェンダー・ギャップ指数とは…

世界経済フォーラム(WEF)発表のジェンダー・ギャップ指数(GGI)は、各国の男女の格差を「経済」「教育」「健康」「政治」の4つの分野で調査し、ジェンダー平等の達成状況を数字にしたものです。数字が1に近いほど平等、0に近いほど不平等を表します。

### ●各国のジェンダー・ギャップ指数順位 (2024年)

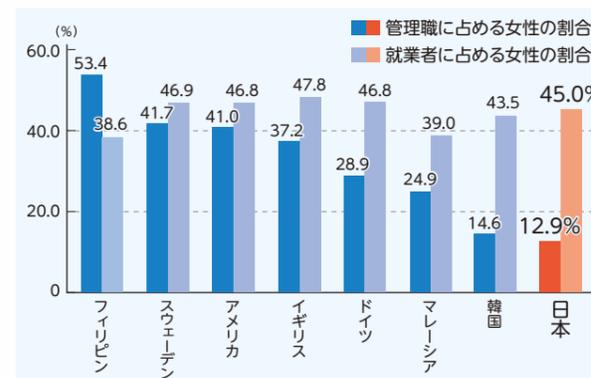
順位	国名	総合指数
1位	アイスランド	0.935
7位	ドイツ	0.810
14位	イギリス	0.789
43位	アメリカ	0.747
94位	韓国	0.696
118位	日本	0.663



日本は、経済参画と政治参画の分野で男女格差が大きいのね!

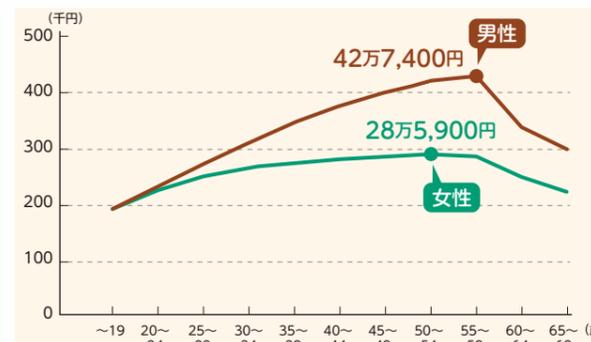
### ●就業者及び管理職に占める女性の割合

— 出典: (独)労働政策研究・研修機構「データブック国際労働比較2024」—



### ●男女の賃金格差 (性別・年齢階級別賃金カーブ)

— 出典: 厚生労働省「令和5年賃金構造基本統計調査」—



### ●日本のジェンダー・ギャップ指数順位 (2024年)

分野	項目	指数(順位)
経済参画	労働参加率の男女比	0.568 (120位)
	同一労働における賃金の男女格差	
	推定勤労所得の男女比	
	管理的職業従事者の男女比	
教育	識字率の男女比	0.993 (72位)
	初等教育就学率の男女比	
	中等教育就学率の男女比	
	高等教育就学率の男女比	
健康	出生児性比	0.973 (58位)
	健康寿命の男女比	
政治参画	国会議員の男女比	0.118 (113位)
	閣僚の男女比	
	最近50年における行政の長の在任年数の男女比	

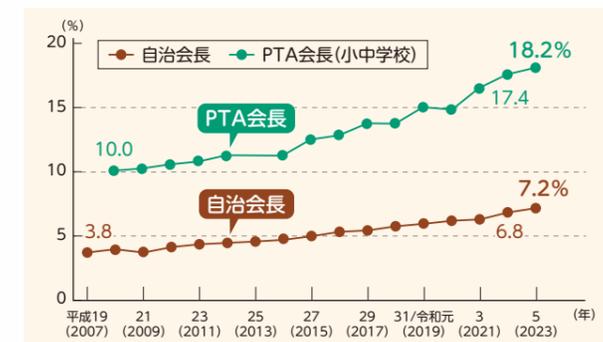
日本の順位が低いのは、女性管理職や女性議員が少ないこと、男女の賃金格差が大きいことなどが理由なんだね!

地域でも、自治会長やPTA会長はまだ男性が多いわ…。



### ●自治会長及びPTA会長に占める女性の割合の推移

— 出典: 内閣府「男女共同参画白書 令和6年版」—





男女平等意識を育む小学生向け啓発リーフレット  
「自分らしく生きる」を改訂しました



# 男女共同参画について学ぶ子どもたち

富山市では、小学3～6年生向けに男女平等意識を育む啓発リーフレット『自分らしく生きる』を作成しています。

リーフレットは、男女共同参画をめぐる状況などを踏まえ、5年に一度の改訂を行っています。リニューアルされたばかりのリーフレットを教材として活用し学んでいる子どもたちの様子について、昨年度、リーフレットの改訂に携わった編集委員会の委員長、山本先生にお話を伺いました。



富山市立船峠小学校  
山本 昌子(やまもと しょうこ) 教頭

## ●リーフレットの活用の仕方は?

学校では、道徳や学級活動の時間などにリーフレットを用いて授業を行っています。授業後に家庭に持ち帰り、家族と話をすることで、家庭で共に考える機会になることを期待しています。

## ●授業の様子は?

4、5年生では、自分の経験や身近な話題で盛り上がり、「家事はできる人がやればいい。助け合えばいい。」「自分で決めた仕事を貫きたい。」と話している子どもたちがいて、自分のこととして捉えている姿が素敵だなと思いました。

6年生はジェンダー・ギャップについて学び、問題意識が芽生え始めているようでした。

## ●今回の改訂のポイントは?

“多様な生き方を認め合える”ということを今回の改訂のポイントにしました。自分の素直な気持ちを表現できるように答えの選択肢を増やしたり、社会の変化を感じ取れるように最新のデータを載せたりしました。子どもたちには、このリーフレットをきっかけに「自分らしく生きる」ことを生涯大事にしていってほしいと思っています。



新・リーフレット  
「自分らしく生きる」

## ●今の子どもたちの意識は?

今の小学生は、“男だから”“女だから”という意識はあまりなく、個性を大事にしているように思います。昔と違って、子どもたちのランドセルが色とりどりになりました。自分の好みで選べるようになったのは社会の変化を感じます。中学校に進学するときには、女子の制服もスラックスが選べるようになり、どちらを選ぶかという会話が、自然に行われています。

## ●男女共同参画について学ぶ意義は?

柔軟な考えをもっている子ども時代に正しく理解することで、相手も自分も思いやる心を育ててほしいと思っています。

## ●子どもたちに願うことは?

自分の持つ力を最大限に生かしてほしいと思っています。そのために子どもたちの可能性や選択の幅を広げることは大人の役割の1つだと思います。選択肢はいくらでもあるし、それを自分で狭めることなく、自分らしく生きてほしいと願っています。

男女平等意識を育む小学生向け啓発リーフレット  
「自分らしく生きる」最新版は、こちらからご覧ください。



<https://www.city.toyama.lg.jp/kurashi/jinken/1010392/1004785.html>



# 家事シェアについて考えてみませんか?

富山市では、男性が家事に参画するきっかけづくりとして、料理や掃除、洗濯など、家事の基本やコツを学ぶ「家事ダン<sup>※</sup>」マイスター認定講座を開催しています。今回、第1回の講座に体験参加した後、講師の三木さんに家事シェアについてのお話を伺いました。 <sup>※</sup>家事ダン…家事を楽しみ、積極的に行う男性

## 「家事ダン」マイスター認定講座

# 家事シェアの秘訣、教えます! チーム家事メソッド



グループワークを行う参加者の皆さん

わが家の家事シェアの満足度や課題、夫婦のコミュニケーションについて話したり、自分の家事知識を採点したりしながら、終始和やかに講座が進みました。日本の男性は、「家族との暮らしを営む権利を取り戻さなくてはならない。」という三木さんの言葉に背中を押され、家族で効率的に助け合えるコツ、『家事シェアメソッド』を参加者は真剣に学んでいました。



三木 智有(みき ともあり)さん  
NPO法人tadaimal代表/家事シェア研究家  
2011年にNPO法人tadaimalを起業。日本唯一の家事シェア研究家、インテリアコーディネーターとして幅広く活動。著書に『家族全員で動く チーム家事』など。

## 三木さんにインタビュー

### Q 家事シェアの研究に取り組むようになったきっかけは?

A インテリアコーディネーターをしていて、家のことに関心のないパパが多くいることに気づき、住み心地のよい家とはどのようなものか考えるうちに、家事シェアを発想しました。

### Q どんな家庭でも家事シェアができるコツはありますか?

A 「働いている方」と「家事育児をしている方」という思い込みをやめて、まずはわが家の家事の課題について話し合いましょう。その家庭に応じたシェアの仕方があるはず。脱ぎっぱなしなどのマイナスの家事を作らないことも大事ですよ。三木家では、小学生の娘も家事シェアの一員です。

### Q 家事シェアをするにあたっての心構えで大事なことは?

A お互いをリスペクトすることです。リスペクトがないと、やりたくない家事を負担しようという気持ちになれないですね。家事シェアは、お互いが心地よく生きるための手段の1つです。

## ◆ 家事シェアの極意 ◆

- 🏠 **家事シェア** とは、「暮らしを回しながら、家庭を築くこと」。  
家事育児を助け合うことは、家族の絆を強くするチャンス!
- 🏠 **パラレル家事** 忙しい人ほど「〇〇していない方が△△する」のルールで家事を同時に行くと、「負担と不満」、両方の解消につながる!
- 🏠 **家事のチーム化** 家事育児は、ゴールから逆算して段取りを組み、家族で協力しながらやるべきことをクリアしていこう!
- 🏠 **夫婦のコミュニケーション** 対話が大事。論破やダメ出しはせず、解決策を一緒に考えよう!
- 🏠 **喜ばそうと思ってこっそりやっておく サプライズ家事は危険!**  
事前に確認をしよう!

<sup>※</sup>サプライズ家事の例 夫:「早く帰ったから、カレーを作っておいたよ」  
妻:「お刺身を買ってきたのに・・・」



# 市民フェスティバル 2024

一人ひとりが個性を発揮し、互いに尊重し支え合う男女共同参画社会を実現するために、「男女共同参画とやま市民フェスティバル2024」が、11月24日(日)、富山市民プラザのアンサンブルホールで開催されました。

**講演会「南極ではたらく ～かあちゃん、調理隊員になる!～」**

講師：渡貫 淳子 さん (第57次南極地域観測隊 設営・調理)



昭和基地で着用していたジャケット姿で登壇した渡貫淳子さん。南極という制約の多い環境下で、観測隊の調理隊員として、常駐する約30人の隊員のお腹と心を「料理」を通して支えました。1年4ヵ月もの間、なぜ家族を日本に残し、南極へ行くことになったのか?穏やかでありながら、堅い信念を感じる語り口で講演は始まりました。

調理師専門学校の職員として働いていた渡貫さんは、仕事が非常に楽しく、本当は辞めたくなかったそうですが、出産・子育てのため、専業主婦となり家事や育児に奮闘します。

そんな日々の楽しみが、日本で初めて南極観測越冬隊に同行取材した女性記者の連載記事。これが、南極に興味を持つきっかけとなります。それから数年後、映画「南極料理人」を見て、「南極で自分のできる仕事がある」と、意思を固めます。

「南極に行きたい」。言葉にして周囲に伝えましたが、家族からは相手にされず、友人からは「無責任だ」と言われる始末。しかし、思いを発信し、必要なスキルを磨き続けていると、次第に周囲が応援してくれるようになりました。また、調理隊員を目指してから、大きく自分の意識を変えたことがありました。それは家族に対して「尋ねるのを止めた」こと。「夜に出かけたいんだけど、いいですか?」ではなく、「飲み会があるので、行ってきます」と、意思を伝えることにしたのです。

「自分は、きっともつとできる」。自分の可能性を自分が否

定するのは止めようと心に決め、3度目の挑戦で、無事、調理隊員に合格。母親としては初となる調理隊員の誕生です。あの新聞記事を読んでから、約12年が経っていました。

南極での仕事は、調理だけでなく、性別に関係なく同じ仕事が与えられたそうです。辛かったのは、体力に差があったこと。しかし、力仕事で得意ではないけれど、男性だから、やらざるを得ない人がいることを知ります。また、日本への帰還間際、ヘアドネーション\*を断念し髪を切った男性隊員の存在に気づきます。きっと彼の職場では、長髪が許されなかったのだろうと推測した渡貫さんは、帰国後も伸ばし続けた自身の髪を寄付することができたといいます。

こうした経験から、「男性女性というよりも、人には得手不得手がある。適材適所で、それぞれができることをやり、相手を尊重する気持ちがあれば、もっと相手を容認できる、いい社会に繋がっていくんじゃないか」と思いを語りました。

帰国後。「そんなに大変じゃなかったよ」と不意に息子さんからかけられた言葉に、「母親として、後ろめたさ、自分がやったことが良かったのか、いろんな思いがあったが、その一言で救われた」と、家族のエピソードを紹介して講演会の幕を閉じました。

※ヘアドネーション…  
病気や事故などで髪を失った人のための医療用ウィッグの素材として、伸ばした髪を寄付する活動のこと。

**profile** 渡貫 淳子 (わたぬき じゅんこ) さん  
第57次南極地域観測隊 設営・調理

1973年青森県八戸市出生。エコー社東京を卒業後、同校の職員として勤務。出産を機に、一旦は専業主婦となるが、一念発起して南極観測隊の調理隊員にチャレンジ。3度目の挑戦で見事合格を果たし、母親としては初の調理隊員として第57次南極地域観測隊に参加した。帰還後は、各誌でレシピ紹介や講演会など活動の場を広げる。

令和6年度

## 男女共同参画社会づくり 作文コンクール



だれもが自分らしく  
生きられるように

八尾中学校3年 京 優希 (きょう ゆうき)

「女の子なのになんで髪の毛短いの?」  
ショートカットの私が、親戚の小学生の男の子から言われたこの言葉。私は違和感を覚えたのと同時にどこか悲しい気持ちになりました。自分が好きな髪型だけでなく、自分自身を否定されたようで、心がぐっと締めつけられる。テレビで見た、男女差別に苦しむ人たちの気持ちが、初めて少しだけわかったような気がしました。

近年、世界で「ジェンダー平等」が叫ばれ、私たちの意識は高まっていると思います。一方で、その国の男女の差を示す、ジェンダー・ギャップ指数ですが、最新のデータで、日本は146か国中、118位でした。これを見て、私は残念に思いました。この結果の背景には、多くの人の頭の中に、「男だから」や「女なのに」といった言葉がまだあるのではないかと考えました。

思い返せば、私も、別の親戚の男の子が、ヘアドネーションをするために髪を伸ばしていると聞いたときに、

富山市では、性別に関わりなく個性と能力を十分に発揮できる「男女共同参画社会」の実現に向けた意識づくりのために、市内の中学生を対象に、毎年、男女共同参画に関する作文を募集しています。今年度は、697点の応募がありました。その中から、入選された方と、最優秀賞受賞作品を紹介します。

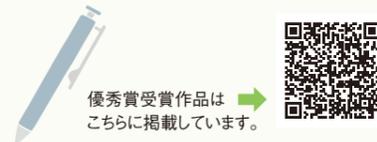


「男の子なのに、えらいな。」  
と思ったことがありました。他にも、サッカーをしている女の子やピンク色が好きな女の子がいて、「男だから」「女なのに」といった枕詞が浮かぶことがあります。私は、私自身が、ジェンダーの考え方に偏見をもっている日本人の一人かもしれないと思いました。  
私のように、染みついた男女のイメージが消えない、そんな人はたくさんいると思います。しかし、そのほとんどの人は、男女差別はいけないとわかっていると思います。だから、私は、「ジェンダー平等」な社会はつくることができると思います。重要なことは、一人一人を尊重することです。ショートカットヘアの自分、サッカーをする女の子、ピンク色が好きな女の子、みんなが大切な一人の人間です。「男だから」「女なのに」ではなく、「男でも」「女でも」さらには「誰でも」。今は意識が必要かもしれませんが、将来的にはそれが当たり前の社会になってほしいです。



市民フェスティバル2024では、最優秀賞と優秀賞の表彰式が行われた後、最優秀賞を受賞した富山市立八尾中学校3年の京 優希さんによる朗読発表がありました。

ジェンダー平等な社会の実現のために重要なことは何なのか。京さんが思い描いた願いを、落ち着いた声ではっきりと述べる様子に、会場に訪れた人たちは、真剣に耳を傾けていました。



● 優秀賞	
男性の育児参加について	堀川中学校3年 石川 ゆい
男女平等な暮らしへ	南部中学校3年 石田 梨奈
幸せの道をひらく男女共同参画の鍵	片山学園中学校1年 稲垣 愛美
誰もが自分らしく生きられる社会へ	南部中学校1年 樹谷 文香
● 佳作	
ジェンダー平等先進国を目指して	堀川中学校3年 網谷 紗也佳
性別にとらわれず自分らしく生きる	大沢野中学校2年 五十里 琉奈
変わってゆく「当たり前」	南部中学校3年 井坂 友郎
「男女平等」を目指して	八尾中学校1年 金厚 満莉乃
互いの違いを受け入れ柔軟に生きたい	堀川中学校3年 北村 武士
目指せ富山のウェルビーイング	堀川中学校3年 小橋 菜々実
触れたら考え共有する	南部中学校1年 高橋 朝子
男女平等について考える	大沢野中学校1年 浜屋 咲希
政治における男女平等	堀川中学校3年 丸山 司真
自分らしく	呉羽中学校2年 村上 梨花

(敬称略・五十音順)

